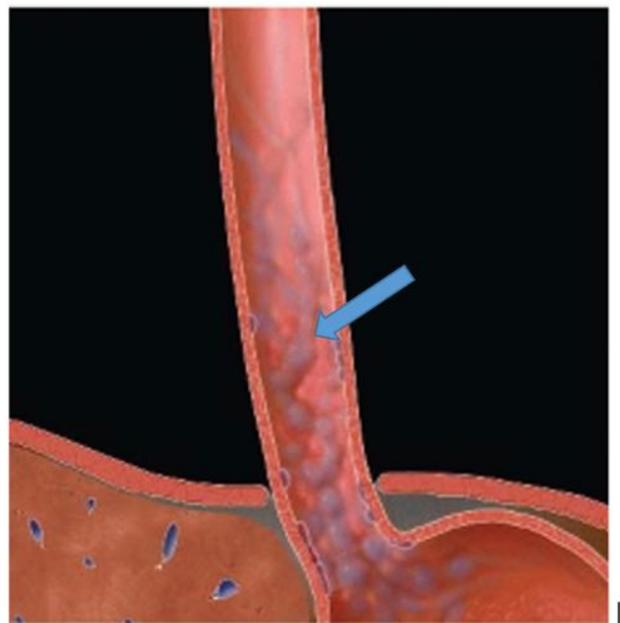
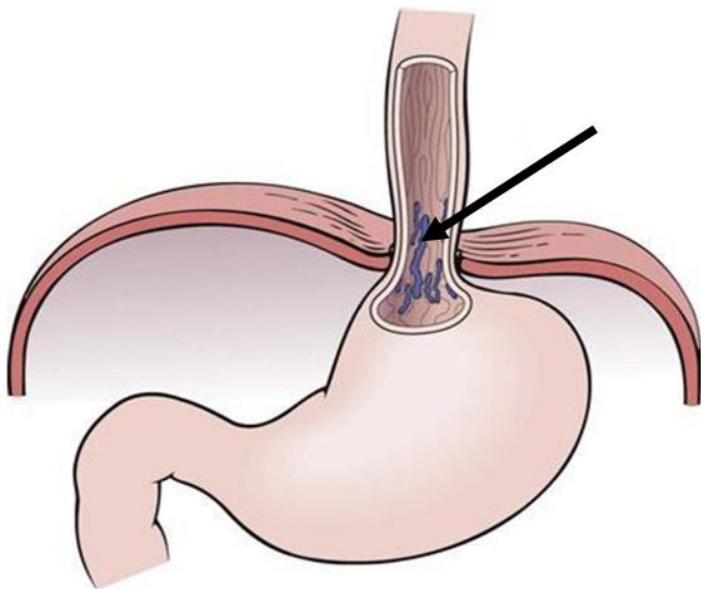


食道静脈瘤とは

食道静脈瘤とは

食道粘膜の下を通る静脈が太くなり、**瘤(コブ)**のように膨れる病気です。できた**瘤(コブ)**は次第に大きくなり、血管は脆く、出血しやすい状態になります。**静脈瘤**が破裂してしまうと、大量出血し、命を落とす危険があるため、注意が必要です。



食道静脈瘤の原因

門脈の圧力が高まることにより発生します。門脈とは、消化管から肝臓へつながっている静脈のことで、大腸や小腸などの消化管から流れてきた血液を、肝臓へ運ぶための血管です。

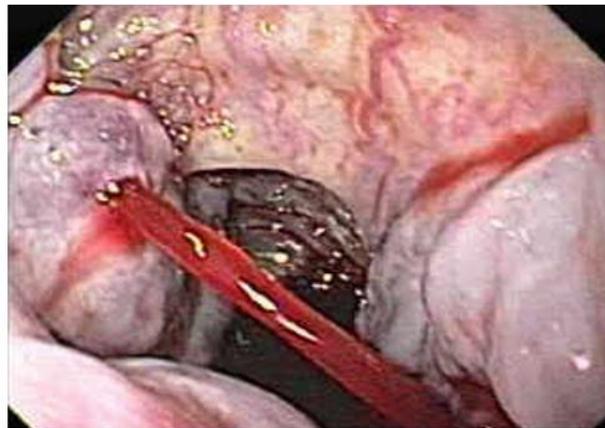
門脈の圧力が高まる病気としては

- 肝硬変
- 特発性門脈圧亢進症
- 肝外門脈閉塞症
- Budd-Chiari 症候群

などがあります。

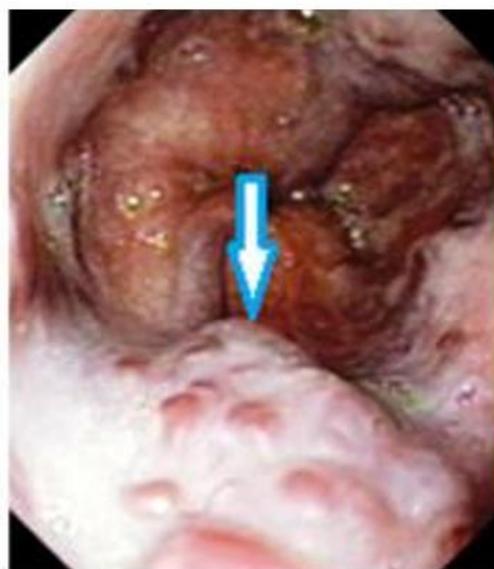
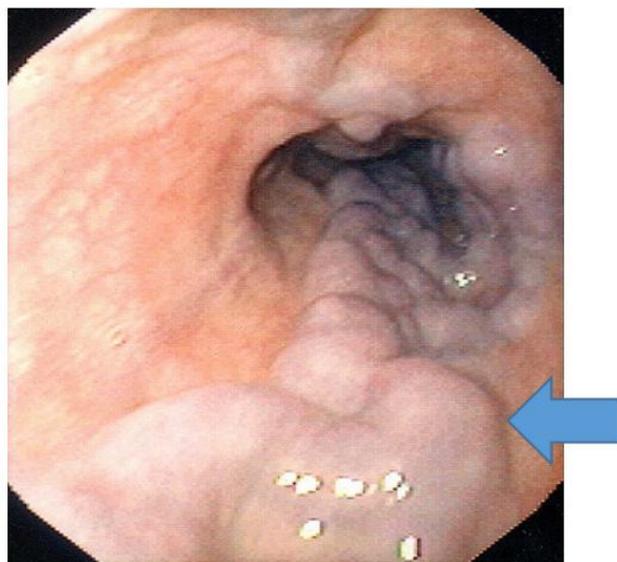
食道静脈瘤の症状

症状はありません。突然の出血、すなわち吐血や黒色便（黒いタール状の便）などで発症します。



食道静脈瘤の診断

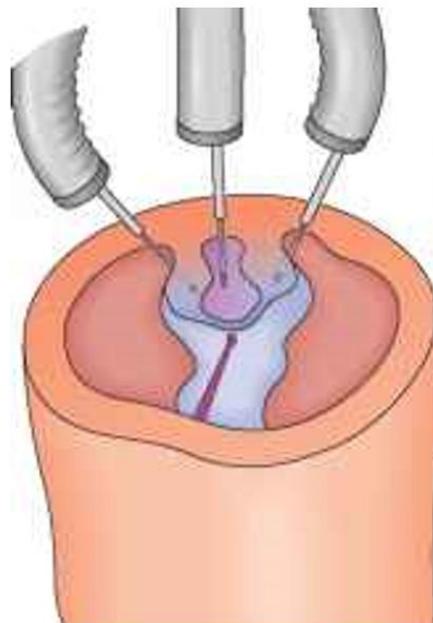
診断の第一は内視鏡検査です。



食道静脈瘤の治療

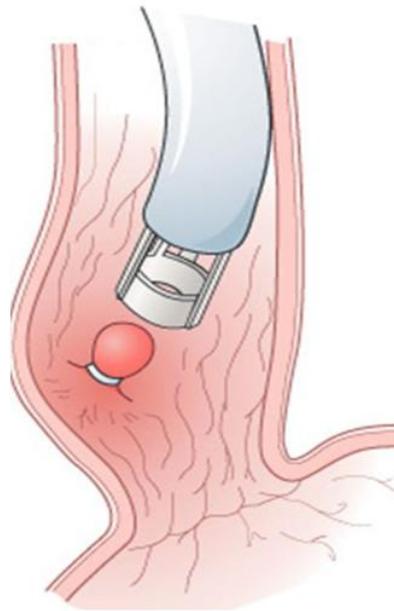
一 食道静脈瘤硬化療法（EIS）

内視鏡で患部を確認しながら、専用の器具で薬剤を静脈瘤に直接注射します。使用するのは硬化剤と呼ばれる薬剤の、オレイン酸モノエタノールアミン（EO）と、エトキシスクレロール（AS）のどちらかです。



— 食道静脈結紮術（EVL）

ゴム製のバンドで食道静脈瘤を結紮（けっさつ＝縛る）し、静脈瘤への血流を止めることで壊死させる方法です。



肝臓が悪い人は早めに内視鏡検査を受けましょう



----- 補足 -----

● 食道静脈瘤の内視鏡所見

L: location 占拠部位	Ls superior 上部食道 Lm midium 中部食道 Li inferior 下部食道に限局 Lg gastric 胃静脈瘤 Lg-c 噴門輪に近接する静脈瘤 Lg-f 噴門輪に離れて孤立するもの
F:form 形態	F0 静脈瘤として認められないもの F1 直線的な細いもの F2 連珠状、中等度 F3 結節状、腫瘤状
C: color 色調	Cw (white) Cb (blue) 血栓化静脈瘤は -Thを付記
RC:red color sign 発赤所見	RWM red wale marking(ミミズばれ) CRS cherry red spot様所見 HCS hematocystic spot 出血・血豆様所見
発赤所見の程度	RC(-) 発赤所見を全く認めない RC(+) 発赤所見を限局性に少数認める RC(++) +~+++の中間 RC(+++) 発赤所見を全周性に多数認める telangiectasiaの有無をTE(+)(-)で附記する RWM,CRS,HCSはRCの後に附記する
出血性所見と 止血後の所見 Bleeding sign	噴出性出血 spurting bleeding 滲み出る出血 oozing bleeding 赤色栓 red plug 白色栓 white plug
粘膜所見 Mucosal finding	びらん Erosion E 潰瘍 Ulcer UI 瘢痕 Scar, S